

# 総合科『地域実習』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	全学年	単位数	1		授業形態	一斉・個別		
教科書 (出版社)	なし		副教材等 (出版社)	なし				
学習目標	○地域の中で体験的な活動を行うことで地域への理解を深め、社会貢献への意識を高める。 ○他者と協働して活動することで、社会性や協調性を身に付ける。 ○異世代などの多様な他者と関わり合うことで、コミュニケーション能力を高める。 ○様々な活動の中で自己理解や他者理解を深める。							
学習方法	○学校の外へ出て地域で活動をする科目です。 ○下記の様々な活動の中から、自分の興味関心や将来の進路などに沿って選択し計画を立てます。 ○「全体活動」以外は原則として放課後や土日に活動し、活動した時間を授業時数として数えます。 ○全活動の合計時数が35単位時間以上（1単位時間は50分）になるように計画してください。 ○下記の活動例にとどまらず、多様な活動への広がりや深まりを期待します。							
学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨					
	ア	知識・技能	地域の自然や産業等についての新たな発見や理解の深化をすることで、社会における自己の役割などについて考え、理解している。					
	イ	思考・判断・表現	活動を通して自己や他者、地域社会について深く思考し、そのことについて自分の言葉で表現することができる。					
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習の計画を立て、積極的に他者と関わることで自己の能力や意識を高めたり深めたりしようとしている。					
学習の評価は、原則活動日誌による自己評価を基本に実施する。								
観点	評価方法		①	②	③	④	⑤	⑥
			計画書	活動日誌	ボランティア体験	勤労体験	PBL	振り返り
ア	知識・技能		○	○	○	○	○	○
イ	思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○
ウ	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	○

## 学習計画

	時数	学習内容	評価の観点			評価方法
			ア	イ	ウ	
全体活動	3	・オリエンテーション（1） ・年間計画の作成（1） ・まとめ（1）			○	① ⑥
ボランティア体験	32	・クリーンアップワッカ	○	○	○	②③
		・サロマ湖マラソンボランティア	○	○	○	②③
		・ワッカガイド	○	○	○	②③
		・社会福祉協議会ボランティア事業	○	○	○	②③
		・児童館訪問	○	○	○	②③
		・病院、介護施設	○	○	○	②③
		・小中学校サポート（学習、部活動）	○	○	○	②③⑤
		・地域イベント支援	○	○	○	②③⑤
・ネイパル北見事業補助	○	○	○	②③⑤		
・自治体講座補助	○	○	○	②③		
社会体験		・第1次産業関連の就業体験	○	○	○	②④
		・公的機関等の就業体験	○	○	○	②④
		・その他地元企業就業体験	○	○	○	②④